

2025年 3 月期 決算説明会

2025年 5 月 16 日



日本金銭機械株式会社

東証プライム市場 / 証券コード：6418

■ 通期連結業績ハイライト

■ 通期連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 2026年3月期 通期連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 中期経営計画

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

■ 通期連結業績ハイライト

■ 通期連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 2026年3月期 通期連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 中期経営計画

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

前期比で増収増益

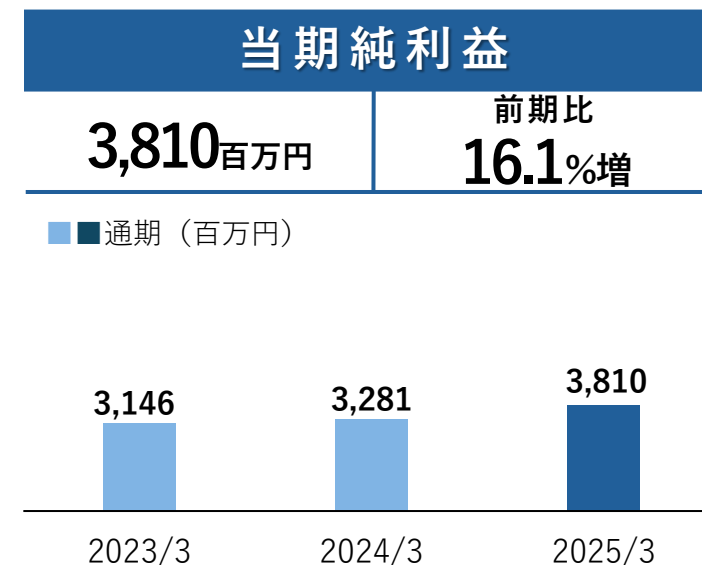
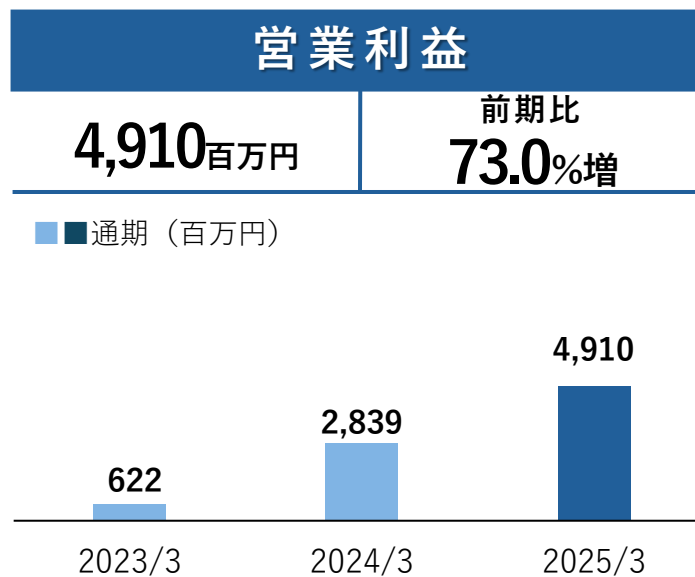
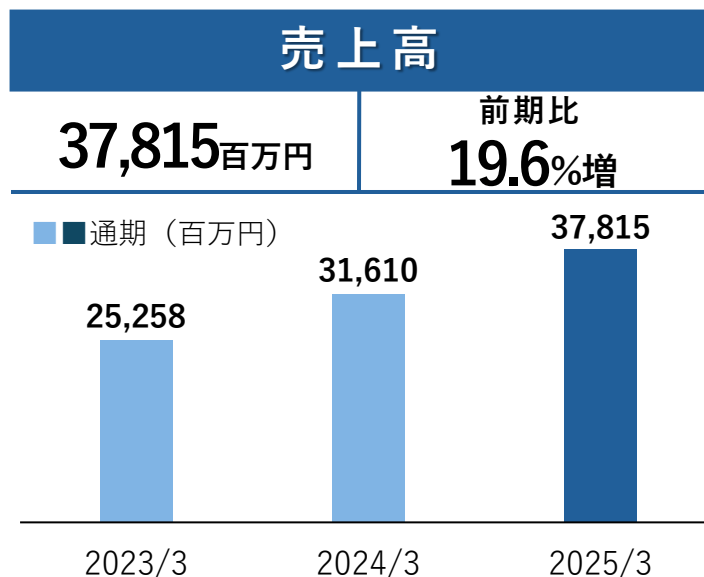
■売上高

グローバルゲーミング市場：前期上半期までの製品供給不足の解消に伴う当社製品の販売の増加に加え、ゲーミングマシン搭載用の紙幣識別機ユニットの販売も大幅増

国内の各市場：日本円の新紙幣の改刷対応に伴う更新需要の増加や、訪日観光客の増加を背景に、主に飲食店券売機向けや駐車場精算機向けの紙幣還流ユニットの販売が増加

■営業利益

売上高の増加、新紙幣の改刷対応に伴う更新需要を中心とした収益性の高い製品の販売増加による影響が寄与



■ 通期連結業績ハイライト

■ 通期連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 2026年3月期 通期連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 中期経営計画

■ 参考資料

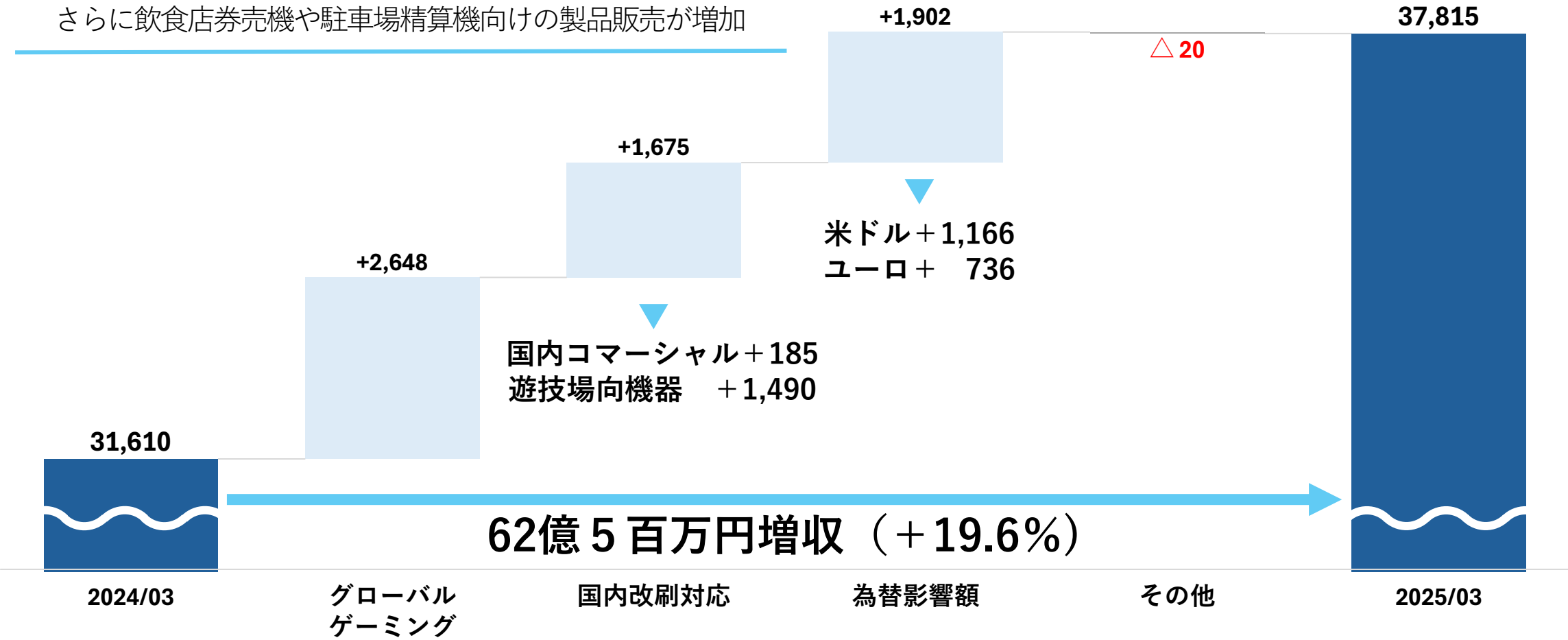
- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

単位：百万円		2024/3 通期		2025/3 通期		前期比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		31,610	100.0%	37,815	100.0%	6,205	19.6%
営業利益		2,839	9.0%	4,910	13.0%	2,071	73.0%
経常利益		3,568	11.3%	4,676	12.4%	1,108	31.1%
当期純利益		3,281	10.4%	3,810	10.1%	528	16.1%
1株あたり当期純利益		112.59円		140.98円		+28.39円	
平均為替レート	米ドル	141.20円		152.28円		+11.08円	
	ユーロ	153.20円		164.45円		+11.25円	

単位：百万円

■主な増減要因

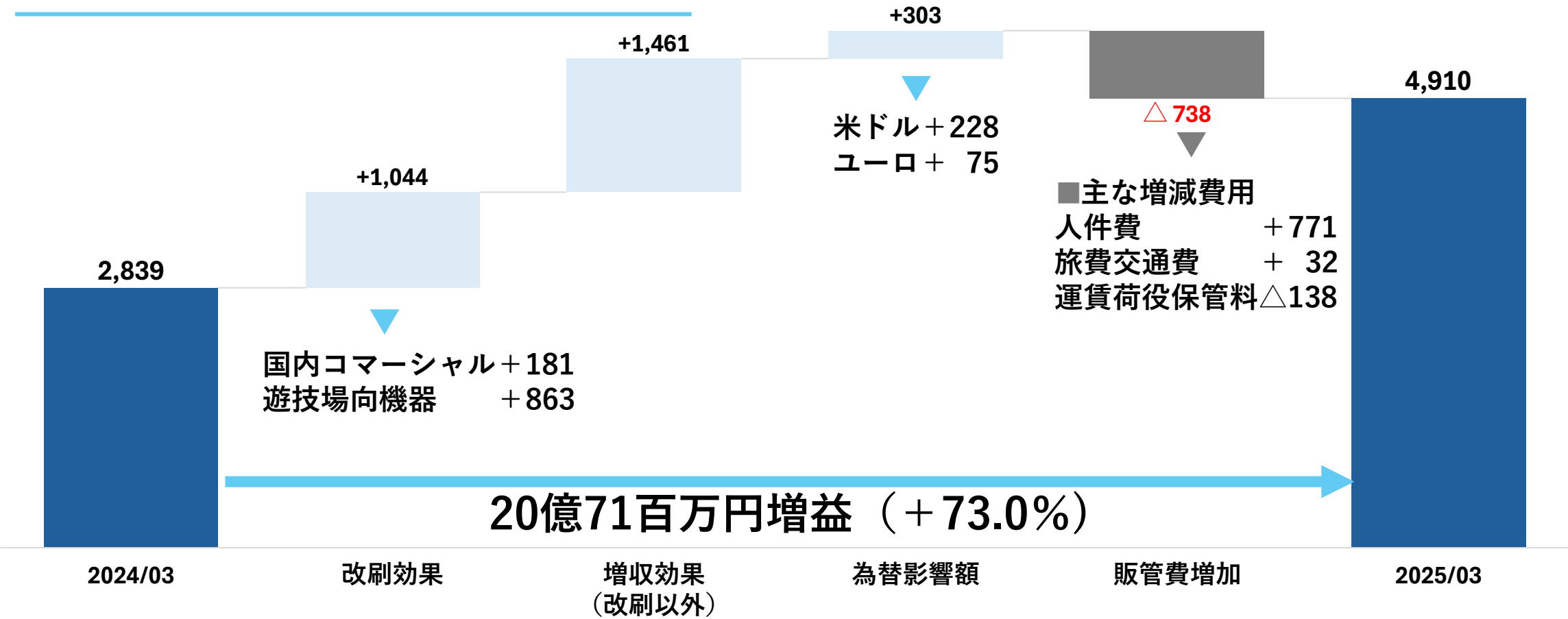
- ・ゲーミングマシン搭載用の製品が北米において高水準で推移
- ・国内では、新紙幣の改刷対応の更新需要増加の影響大
さらに飲食店券売機や駐車場精算機向けの製品販売が増加



単位：百万円

■主な増減要因

- ・海外、国内ともに売上増加による効果大
- ・国内の新紙幣の改刷対応に伴う収益性の高い製品の販売増加による影響大



■ 通期連結業績ハイライト

■ 通期連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 2026年3月期 通期連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

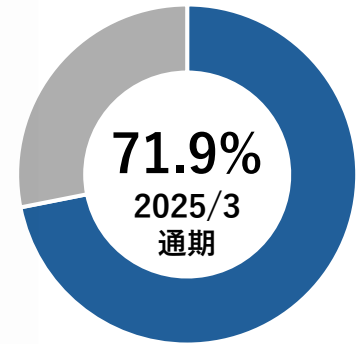
■ 中期経営計画

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

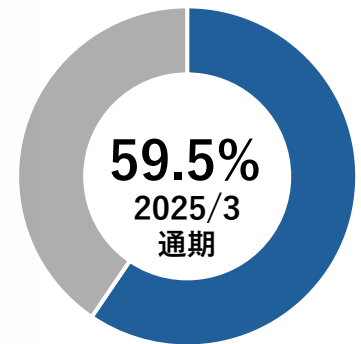
単位：百万円	2024/3 通期	2025/3 通期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	31,610	37,815	6,205	+19.6%
グローバルゲーミング	17,279	21,477	4,198	+24.3%
海外コマーシャル	5,915	5,707	△ 208	△ 3.5%
国内コマーシャル	2,692	3,805	1,113	+41.4%
遊技場向機器	5,723	6,824	1,101	+19.2%
セグメント利益	2,839	4,910	2,071	+73.0%
グローバルゲーミング	2,794	4,368	1,573	+56.3%
海外コマーシャル	△ 175	△ 566	△ 390	—
国内コマーシャル	523	1,147	623	+119.1%
遊技場向機器	1,001	1,437	435	+43.4%
調整額 (各セグメントに配分していない全社費用)	△ 1,305	△ 1,475	△ 169	—

海外売上高比率



(2024/3 通期 73.4%)

海外営業利益比率



(2024/3 通期 63.2%)



■事業概要

主な市場は北米カジノホテルのゲーミングエリア、欧州のストリートのゲーム場
ゲーミングマシン搭載用の紙幣識別機ユニットやプリンターユニット、カジノホテルの省力化や自動化のためのシステム製品等を販売

■主な納入先

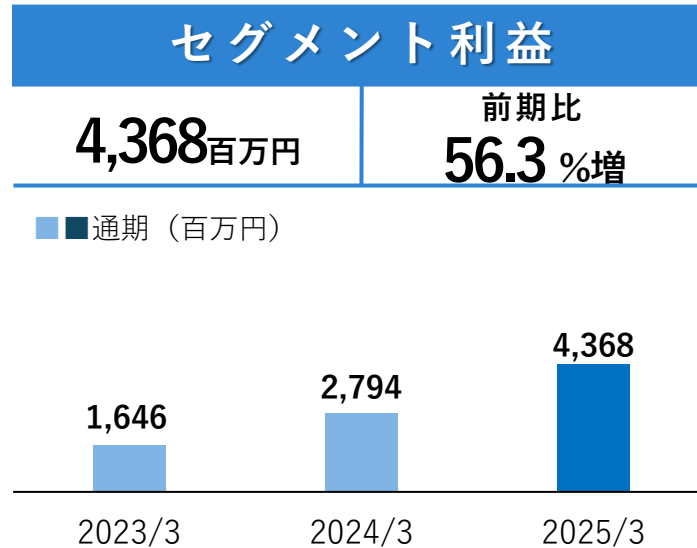
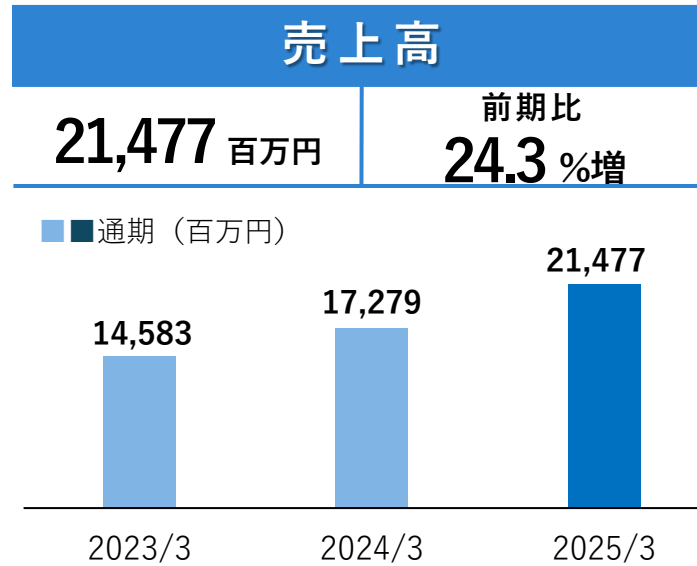
スロットマシンメーカー、カジノホテル

■業績概況

カジノホテル等の設備投資意欲は高水準で推移
紙幣識別機ユニットの販売が大幅増加

■次期の見通し

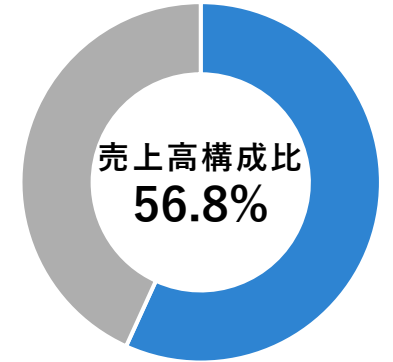
北米では販売が堅調に推移する一方で、欧州では景況感の軟化により、販売減少を見込む



主な製品



プリンターユニット



紙幣識別機ユニット



カジノホテル現金回収業務
自動化システム



テーブルゲームシステム
(紙幣還流ユニット・プリンターユニット搭載)



■事業概要

流通・交通・金融市場向けの精算機や券売機等に搭載される紙幣識別機ユニットや紙幣還流ユニットを販売

■主な納入先

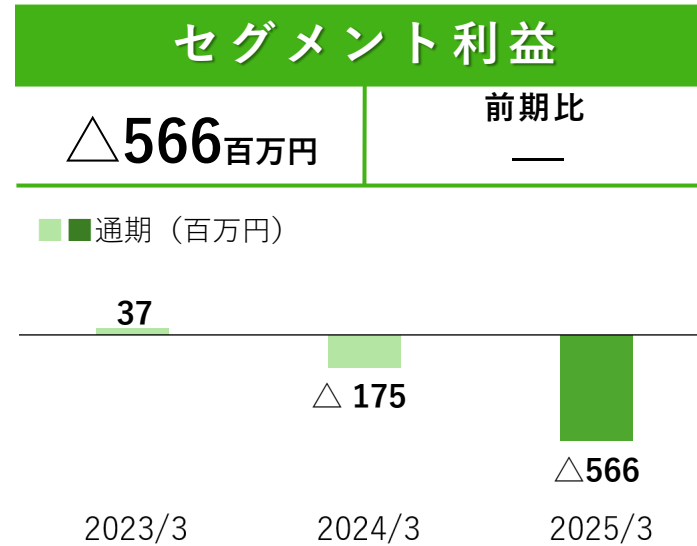
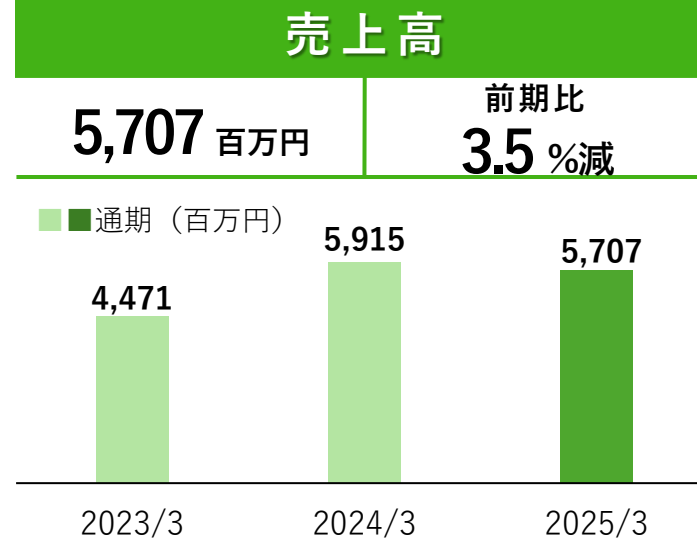
完成品メーカー（セルフレジ、キオスク端末等）

■業績概況

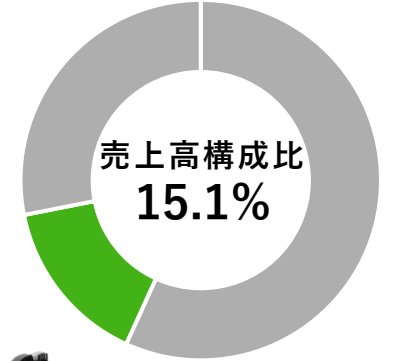
当期後半の欧州顧客の在庫調整に伴う販売減、北中南米地域における新市場開拓の遅延により、当初の販売計画未達
新市場開拓に向けた新製品の研究開発等の先行投資を継続実施

■次期の見通し

アジア地域では製品需要の増加を見込む一方、北中南米地域の新市場開拓遅延により、販売減少を見込む



主な製品



紙幣還流ユニット



紙幣識別機ユニット



自動釣銭機



■事業概要

流通、交通、金融市場向けの精算機や券売機等に搭載される紙幣識別機ユニットや紙幣還流ユニットを販売

■主な納入先

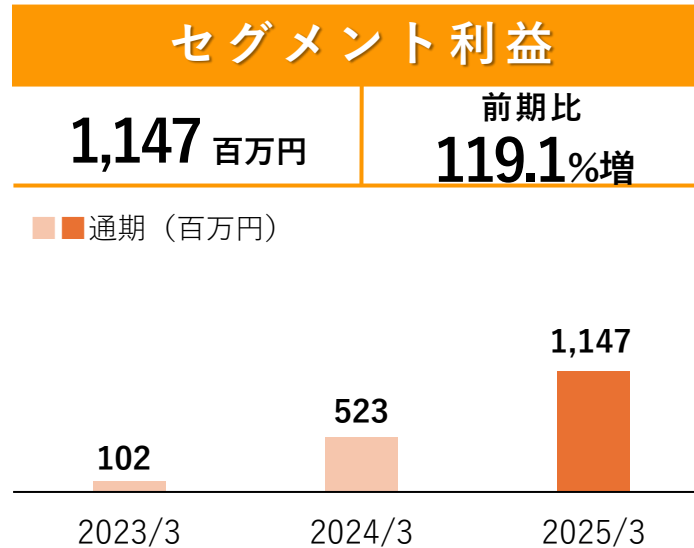
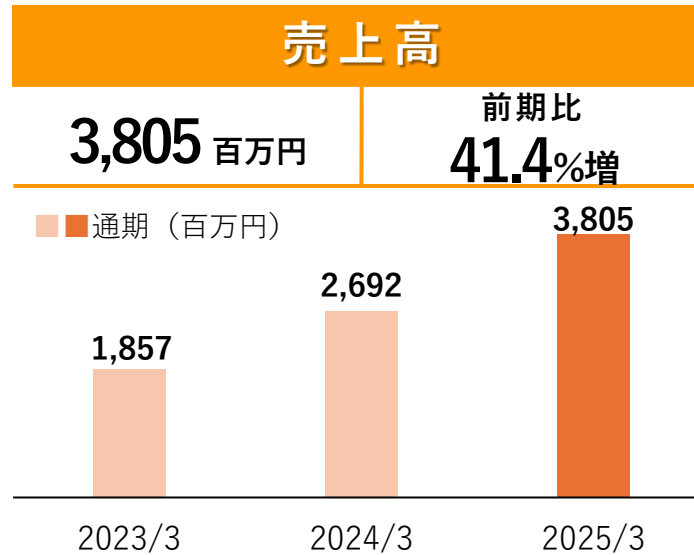
完成品メーカー
(飲食店セルフ精算機、コインパーキング、セルフガソリンスタンド、バス等)

■業績概況

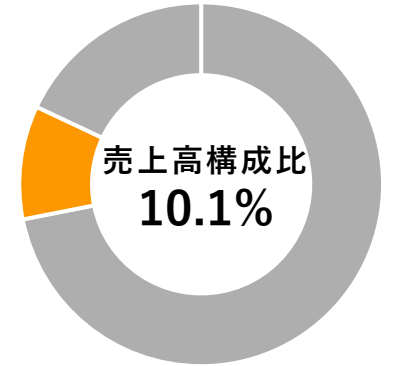
新紙幣の改刷対応に伴う更新需要の増加
訪日観光客増加に伴い駐車場精算機及び飲食店券売機向けの紙幣還流ユニットの販売増加

■次期の見通し

当期の新紙幣改刷対応に伴う各顧客における先行投資の影響により製品販売の減少を見込む



主な製品



紙幣還流ユニット



硬貨還流ユニット



キャッシュレス対応
自動精算機



■事業概要

パチンコホール向けに、スマート遊技機専用ユニットや玉・メダル貸機、メダル自動補給システム等の周辺設備機器を販売

■主な納入先

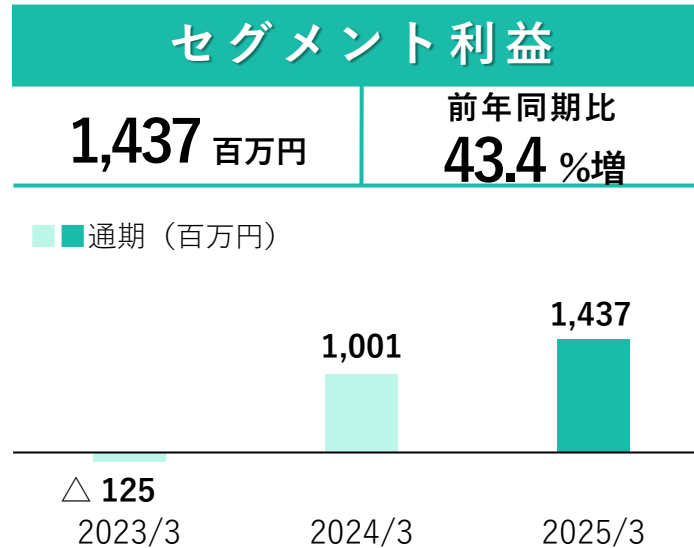
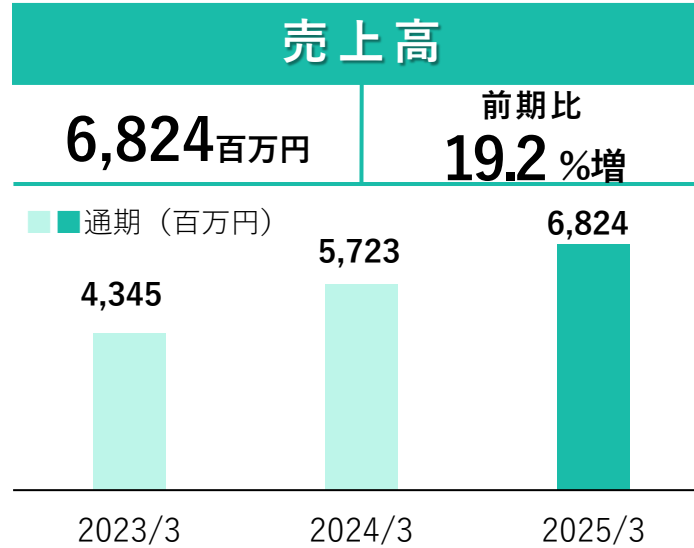
パチンコホール

■業績概況

新紙幣の改刷対応に伴う紙幣識別機ユニット
紙幣搬送システムを含む周辺機器の販売が増加
スマート遊技機専用ユニットの販売も底堅く推移

■次期の見通し

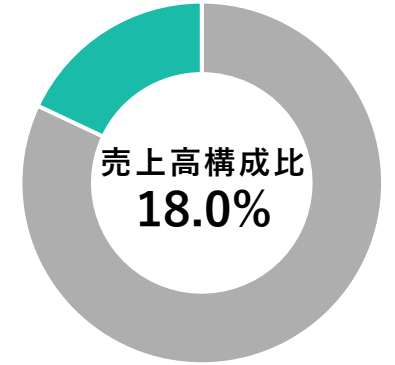
当期の売上増に大きく寄与していた新紙幣の改刷
対応の需要が一巡、スマート遊技機の導入状況も
落ち着きつつあり、当期の反動減を見込む



主な製品



景品管理POS



紙幣搬送システム



景品払出機



スマート遊技機
専用ユニット

■ 通期連結業績ハイライト

■ 通期連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 2026年3月期 通期連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 中期経営計画

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

■ 次期は、売上高・利益面ともに踊り場を迎える

【売上高】 海外コマースの欧州顧客の在庫調整が懸念材料となる一方、グローバルゲーミングは引き続き堅調さを維持
国内各市場では、新紙幣の改刷需要の反動に伴う販売減少を見込む

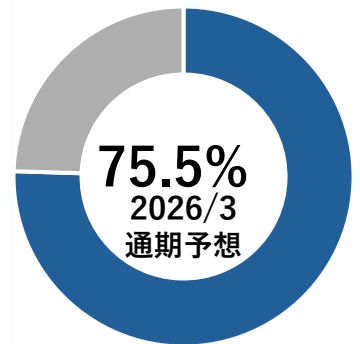
【利 益】 国内の改刷需要に対応した収益性の高い製品の販売一巡の影響を見込む
一方で、固定資産売却益を特別利益として計上予定

単位：百万円	2025/3						2026/3						前期比 増減
	上半期		下半期		通期		上半期予想		下半期予想		通期予想		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	21,253	100.0%	16,562	100.0%	37,815	100.0%	15,300	100.0%	15,700	100.0%	31,000	100.0%	△6,815
営業利益	3,755	17.7%	1,155	7.0%	4,910	13.0%	800	5.2%	600	3.8%	1,400	4.5%	△3,510
経常利益	2,993	14.1%	1,683	10.2%	4,676	12.4%	500	3.3%	500	3.2%	1,000	3.2%	△3,676
当期純利益	2,490	11.7%	1,320	8.0%	3,810	10.1%	2,800	18.3%	400	2.5%	3,200	10.3%	△610
ROE	－		－		12.6%		－		－		9.7%		△2.9pt
1株当たり 当期純利益	91.80円		－		140.98円		103.97円		－		118.82円		△22.15円

平均為替 レート	米ドル	154.09円	149.41円	152.28円	146.04円	140.00円	143.02円	△9.26円
	ユーロ	166.22円	163.80円	164.45円	158.40円	155.00円	156.70円	△7.75円

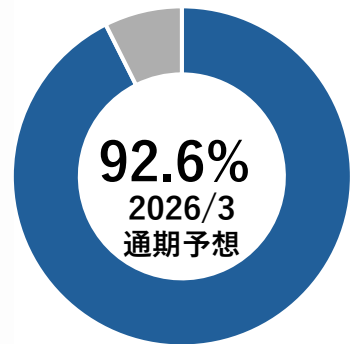
単位：百万円	2025/3			2026/3			前期比 増減額
	上半期	下半期	通期	上半期予想	下半期予想	通期予想	
売上高	21,253	16,562	37,815	15,300	15,700	31,000	△ 6,815
グローバルゲーミング	10,684	10,792	21,477	9,600	9,100	18,700	△ 2,777
海外コマース	3,436	2,270	5,707	2,000	2,700	4,700	△ 1,007
国内コマース	2,422	1,383	3,805	1,200	1,400	2,600	△ 1,205
遊技場向機器	4,710	2,114	6,824	2,500	2,500	5,000	△ 1,824
営業利益	3,755	1,155	4,910	800	600	1,400	△ 3,510
グローバルゲーミング	2,287	2,080	4,368	1,900	1,370	3,270	△ 1,098
海外コマース	△ 172	△ 394	△ 566	△ 380	△ 20	△ 400	+166
国内コマース	954	193	1,147	30	0	30	△ 1,117
遊技場向機器	1,388	48	1,437	100	100	200	△ 1,237
調整額 (各セグメントに配分していない全社費用)	△ 702	△ 772	△ 1,475	△ 850	△ 850	△ 1,700	△ 224

海外売上高比率



(2025/3 通期 71.9%)

海外営業利益比率



(2025/3 通期 59.5%)

■ 通期連結業績ハイライト

■ 通期連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 2026年3月期 通期連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 中期経営計画

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

■ 2025年3月期の期末配当

- ・ 普通配当 1株当たり26円 ・ 記念配当（創業70周年） 1株当たり10円
- ・ 年間普通配当は、1株当たり40円（中間配当1株当たり14円、期末配当1株当たり26円）
記念配当1株当たり10円と合わせて、年間配当合計は1株当たり50円

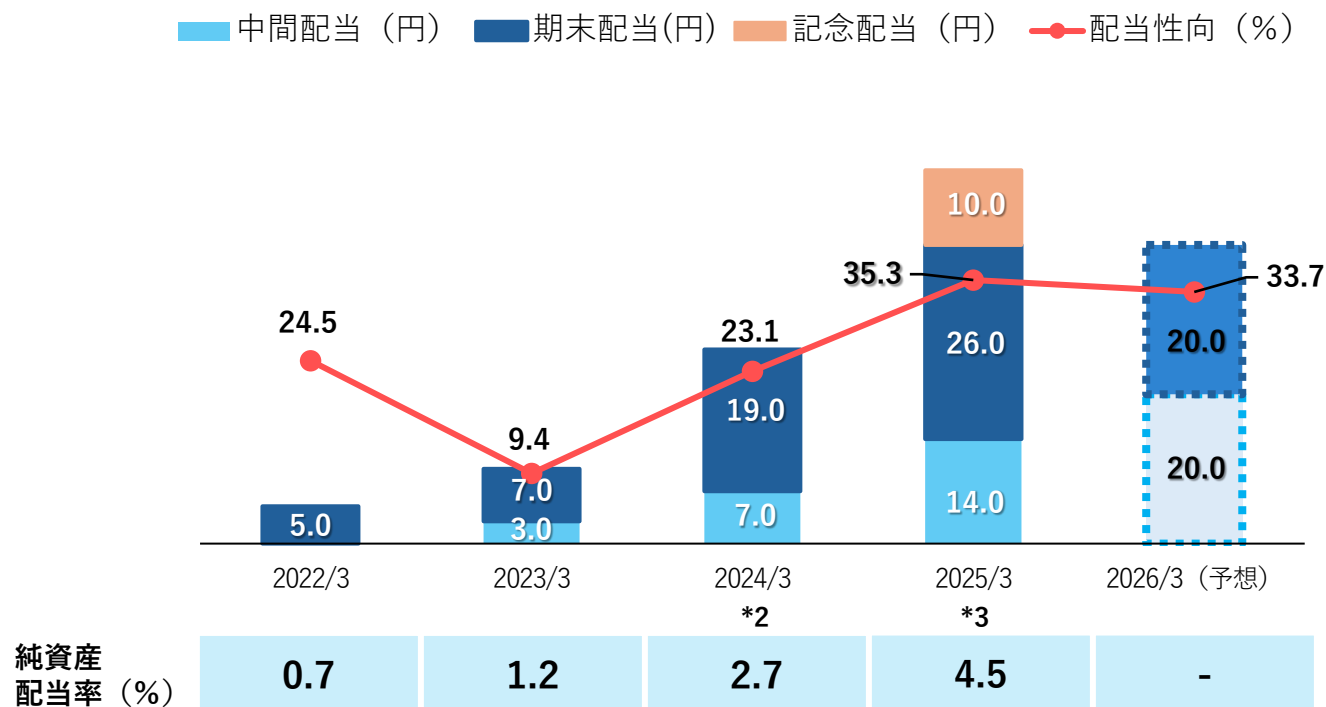
■ 2026年3月期の配当予想

- ・ 年間普通配当 1株当たり40円（中間配当1株当たり20円、期末配当1株当たり20円）

配当方針

業績連動型株主還元を継続

- 配当性向（連結）30%以上 *1
- 純資産配当率（連結）2.0%以上



*1 ごく短期的な利益変動要因による影響を除いて決定することがあります。

*2 2024年2月に自己株式の取得（19億円）を実施。

*3 2024年5月に自己株式の取得（15億円）を実施。

■ 通期連結業績ハイライト

■ 通期連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 2026年3月期 通期連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 中期経営計画

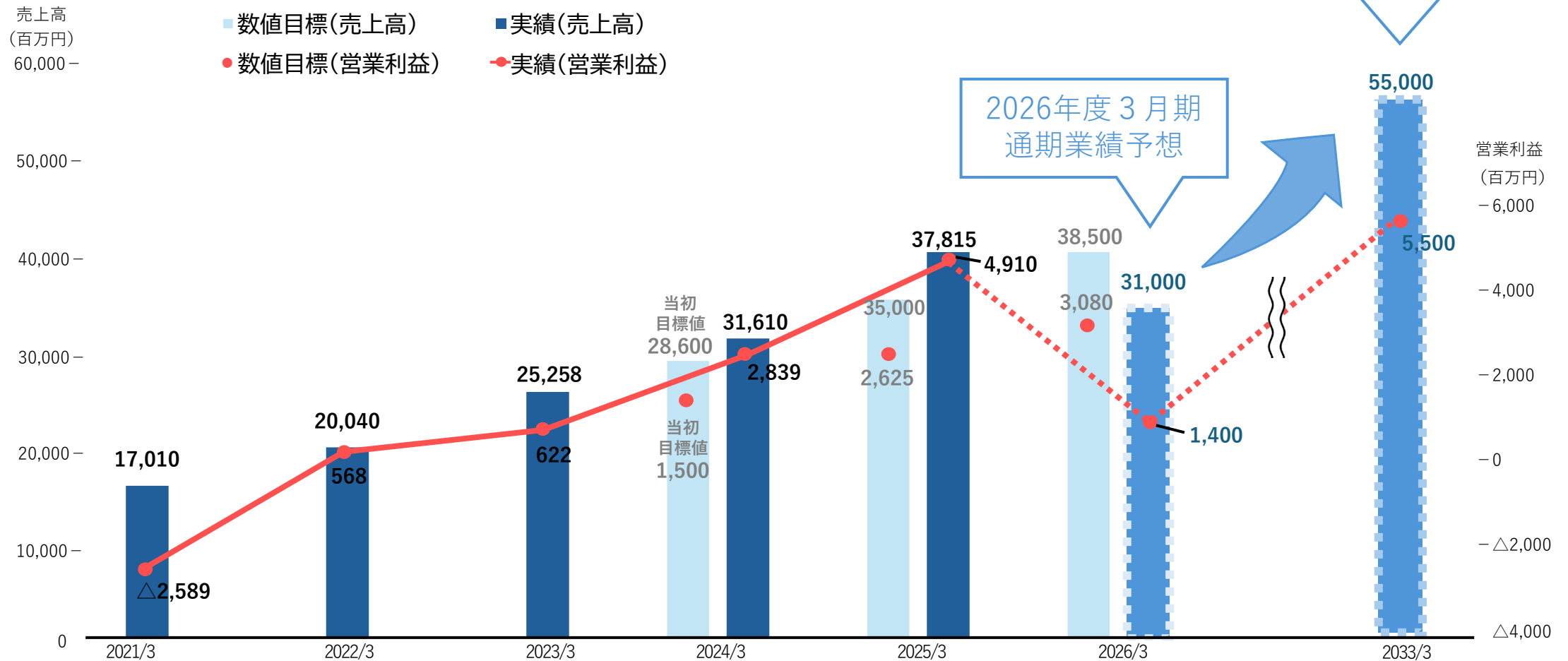
■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

■中期経営計画「JCM Global Vizion 2032」(2023年～2025年度)

現在、中期経営計画の見直しを進行中

改定後の計画策定が完了次第、速やかに公表予定



■ 通期連結業績ハイライト

■ 通期連結業績概要

- 売上高増減要因
- 営業利益増減要因

■ セグメント別概要

- グローバルゲーミング
- 海外コマーシャル
- 国内コマーシャル
- 遊技場向機器

■ 2026年3月期 通期連結業績予想

- セグメント別業績予想

■ 株主還元

■ 中期経営計画

■ 参考資料

- 会社概要
- 沿革
- 株価・PBR・ROE
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フローの状況
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 為替影響
- 市場シェア
- Topics－各事業における取り組み
- サステナビリティへの取り組み

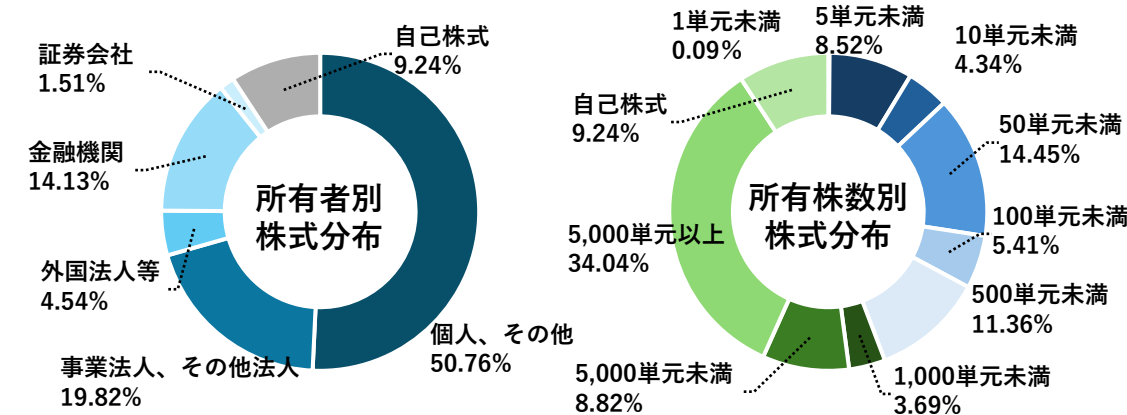
商号	日本金銭機械株式会社 Japan Cash Machine Co.,Ltd.
設立	1955年1月11日
代表者	代表取締役社長 上東 洋次郎
本社所在地	大阪市浪速区難波中二丁目11番18号 パークスサウススクエア

上場区分	東証プライム市場
社員数	570名（2025年3月31日現在）
資本金	22億2,031万円（2025年3月31日現在）
事業所	本社（大阪市浪速区）、東京本社（東京都中央区）、長浜工場（滋賀県長浜市）
海外拠点	アメリカ（ラスベガス、シカゴ）、ブラジル、ドイツ、タイ、フィリピン

株式の状況（2025年3月31日現在）

発行可能株式総数	118,000,000株	1単元の株式数	100株
発行済株式の総数	29,672,651株	株主数	23,141名

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
上東興産株式会社	4,661	17.31
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,275	8.45
上東 洋次郎	1,458	5.41
上東 好子	638	2.37
株式会社りそな銀行	563	2.09
株式会社三井住友銀行	503	1.87
トーターエンジニアリング株式会社	432	1.61
日本生命保険相互会社	403	1.50
日本金銭機械従業員持株会	325	1.21
BNP PARIBAS FINANCIAL MARKETS	317	1.18



(注) 1. 当社は自己株式を2,741,926株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

Our History

1955年に創業して以来、当社は貨幣処理機器メーカーという専門性の高い分野を担うメーカーとして、「人と人」、「人と貨幣」を円滑につないできました。これまで世界市場を舞台に貨幣流通のスペシャリストとして培った技術を基に、それぞれの市場に求められる新たな価値を提供できる、国際企業として人々の期待と信頼に応え続けていきます。

売上高の推移 ■単体売上高 ■連結売上高



1960-1970年代

電子化・インライン化

百貨店、スーパーの大型化に伴い、レジスターは売上集計のためのコンピュータ端末機へ。当社製品はレジスター機能の優秀さからコンピュータメーカーのOEM需要が旺盛となる。

1980-1990年代

鑑別・計数技術の応用から独自技術の開発・活用へ

鑑別、計数、分別等当社がもつノウハウを複合化することで新たな製品開発を目指す。硬貨搬送等の独自技術をベースにパチスロメダルの自動搬送システムを完成。遊技場市場における当社の地位を不動のものとする。

2000年代

欧米市場への貨幣処理機器事業の展開/遊技場関連機器のニーズに対応

多国紙幣対応紙幣識別機の販売を開始。遊技場向け機器事業も順調に成長し、もう一つの収益の柱になる。

2010年以降

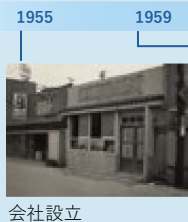
コアとなる識別・搬送技術を追求め、時代を先取りする技術革新につなげる

グローバルゲーミング事業、遊技場向け機器事業では、買収・事業譲受けによって新たに取得した製品、市場、顧客、資産等を活用し、シナジー効果を実現するとともに、総合コンポーネントサプライヤーとしての地位を確立。コマース事業では未開拓市場への積極展開を図り、確固たる収益の柱とすることを目指す。

2020年以降

コマース事業の拡大に向けて、新たに子会社を設立、積極展開を図り、確固たる収益の柱とすることを目指す

最適な生産体制の確立に向け、フィリピンに新たに生産子会社（新工場）を設立。さらに、ゲーミング事業に次ぐ当社の柱となるコマース事業の拡大に向けて、北米（シカゴ）、南米（ブラジルに新たな販売子会社を設立し、海外コマース向け製品である紙幣還流ユニット「MRX」の製造販売を開始。世界各国のセルフレジや、鉄道等の券売機に導入される。



会社設立



レジスターの製造開始



紙幣識別機の製造開始



米国に子会社設立



欧州に子会社設立



東京本社、新事務所の業務開始



ゲーミング市場向けプリンターユニット製造販売会社を取得、子会社化



フィリピンに子会社設立



米国、ブラジルに子会社設立

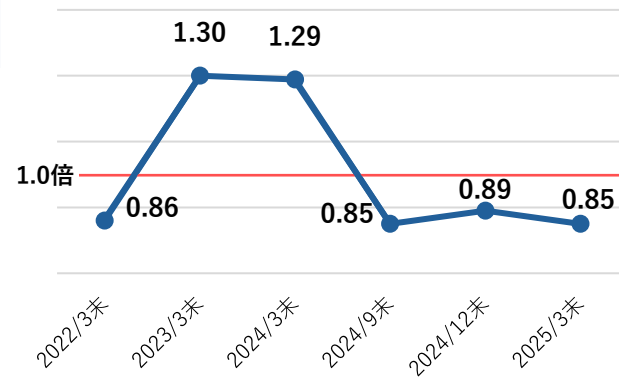
株価の推移



PBR

0.85倍 (2025/3末)

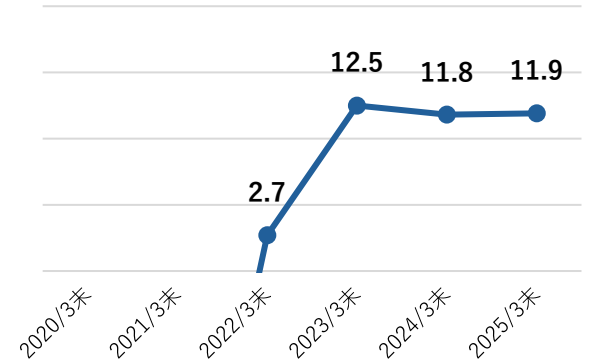
持続的な維持・向上に
向けた基準値
1.0倍以上



ROE

11.9% (2025/3末)

中期経営計画目標値
8%以上



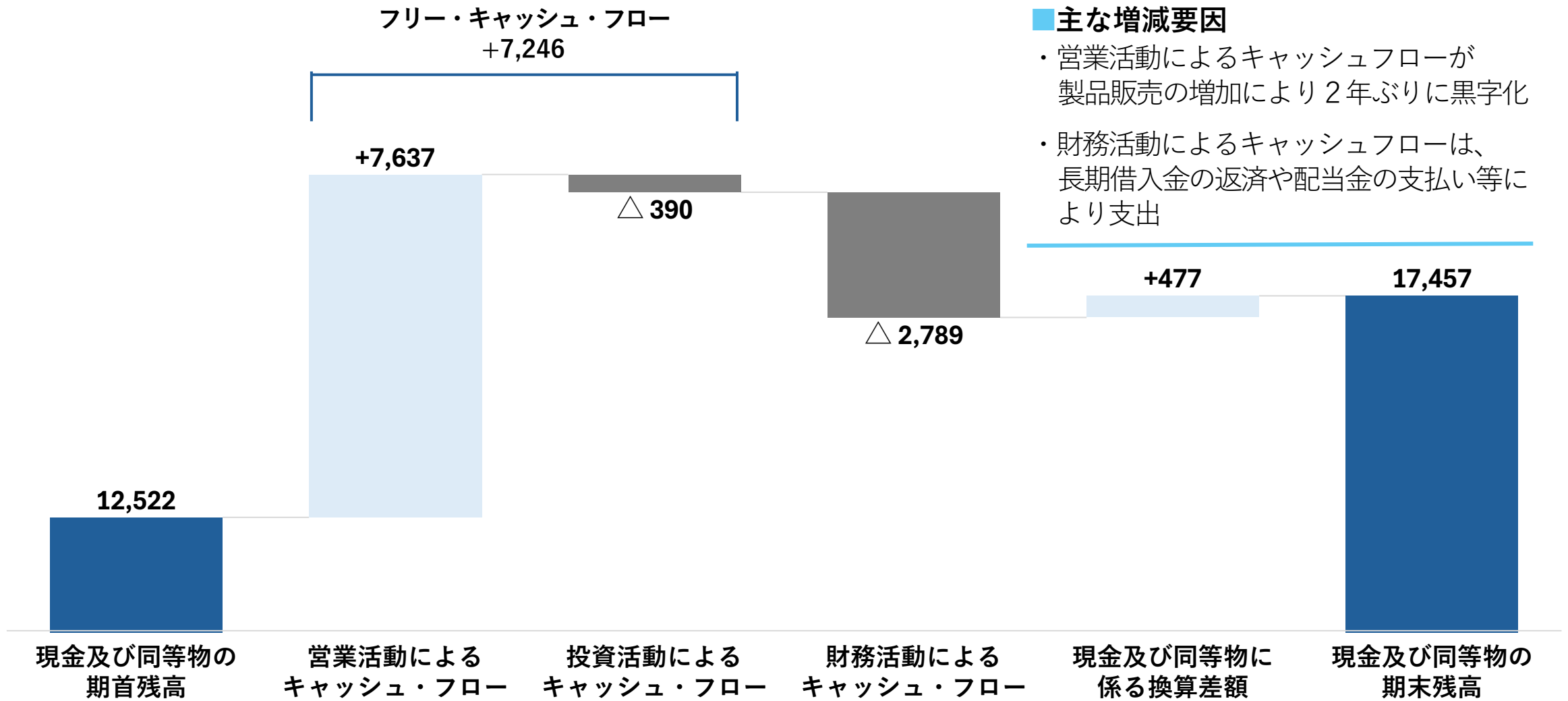
■ 資産、負債及び純資産：+16億86百万円

- 流動資産 +13億22百万円：現預金の増加、棚卸資産の減少
- 流動負債 △11億92百万円：主に買掛債務の減少
- 純資産 +33億75百万円：利益剰余金の増加

単位：百万円		2023/3末	2024/3末	2025/3末	増減
	現預金・有価証券	13,711	12,580	17,497	+4,916
	売掛債権	5,005	7,056	6,068	△ 988
	棚卸資産	11,610	19,564	17,061	△ 2,502
	その他	1,945	941	838	△ 103
流動資産合計		32,273	40,143	41,465	+1,322
	有形固定資産	3,338	3,950	4,080	+130
	無形固定資産	143	219	195	△ 24
	投資その他の資産	3,025	3,261	3,540	+279
固定資産合計		6,508	7,431	7,816	+385
	繰延資産その他	35	123	102	△ 20
繰延資産合計		35	123	102	△ 20
資産合計		38,816	47,698	49,385	+1,686

単位：百万円		2023/3末	2024/3末	2025/3末	増減
	買掛債務	3,559	4,583	2,201	△ 2,381
	短期借入金	600	1,260	1,500	+240
	その他	3,466	3,417	4,366	+949
流動負債合計		7,625	9,260	8,068	△ 1,192
	社債・長期借入	3,500	9,540	9,120	△ 420
	その他	527	242	165	△ 76
固定負債合計		4,027	9,782	9,285	△ 496
負債合計		11,653	19,042	17,354	△ 1,688
	資本金	2,220	2,220	2,220	+0
	資本・利益剰余金	24,465	27,335	30,229	+2,894
	その他	477	△ 900	△ 419	+481
純資産合計		27,163	28,655	32,031	+3,375
負債純資産合計		38,816	47,698	49,385	+1,686

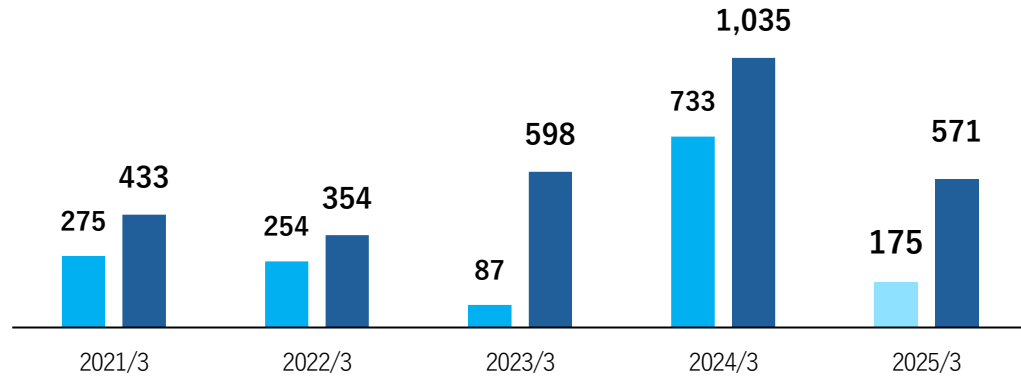
単位：百万円



2025/3

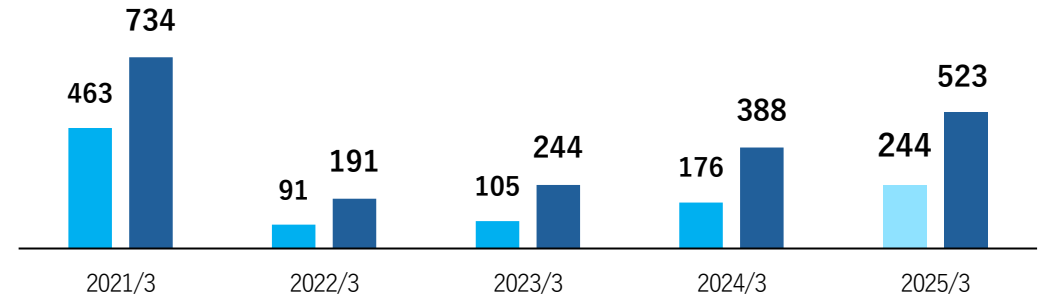
設備投資額

■ 上半期 ■ 通期 (百万円)



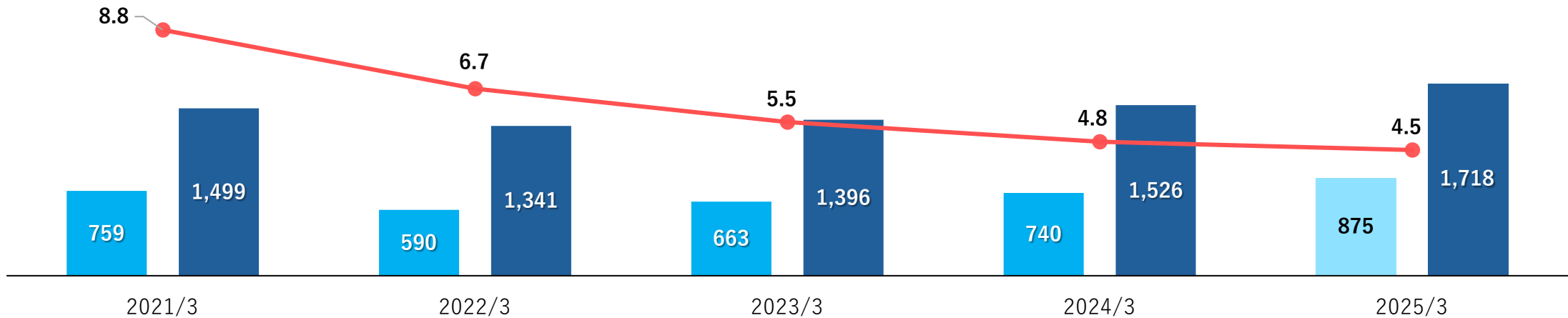
減価償却費 (のれん除く)

■ 上半期 ■ 通期 (百万円)



研究開発費・対売上高比率

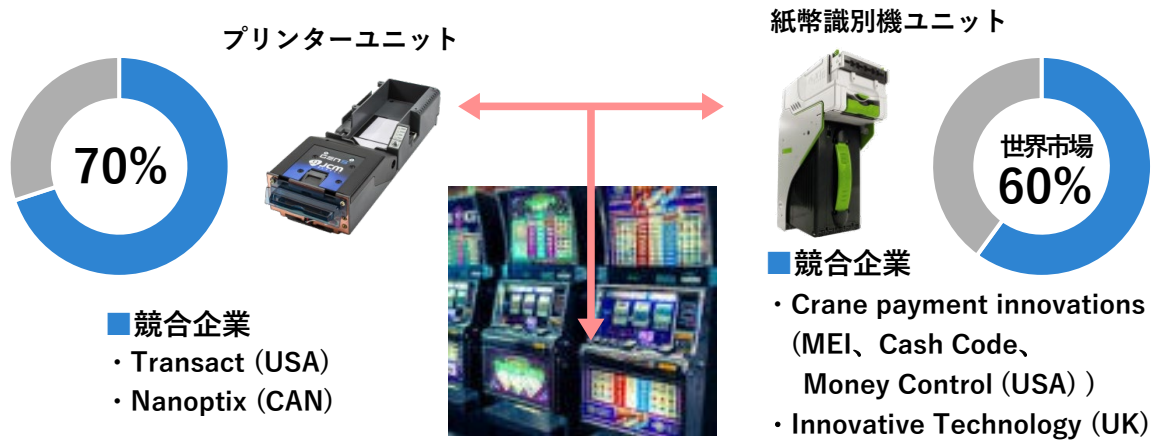
■ 上半期 ■ 通期 (百万円) ● 対売上高比率 (%)



■ 為替感応度：円安は業績プラス要因

1円変動による影響額（通期：百万円）		2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3
期中平均レート	米ドル	106.44円	110.37円	132.08円	141.20円	152.28円
	ユーロ	121.95円	130.37円	138.58円	153.20円	164.45円
売上高	米ドル	71	87	91	99	149
	ユーロ	33	35	48	59	37
営業利益	米ドル	29	30	11	14	65
	ユーロ	4	5	3	3	6
期末日レート	米ドル	110.72円	122.41円	133.54円	151.42円	149.53円
	ユーロ	129.82円	136.85円	145.76円	163.38円	162.09円
営業外損益	米ドル	40	42	40	33	37
	ユーロ	5	4	4	5	4

グローバルゲーミング



海外コマーシャル



国内コマーシャル



遊技場向機器



グローバルゲーミング

■世界のゲーミング市場における高いブランド力

JCMグループは、米国、欧州をはじめとした世界のゲーミング市場において、ゲーミング関連機器等の販売と各種サービスを提供しており、現在、北米で約190を超えるゲーミングライセンスを取得し、世界のゲーミング市場における実績とノウハウを保有する数少ない日本企業であります。



世界最大のゲーミングショー

Global Gaming Expo
ラスベガス



欧州最大のゲーミングショー

International Casino Exhibition
バルセロナ



アジア最大のゲーミングショー

Global Gaming Expo ASIA
マカオ

■カジノ向けスロットマシンのメーカーをはじめ、周辺設備機器、システムソリューションやサービスなど、幅広いジャンルの関連企業が集まるゲーミングショーに毎年出展し、新製品や当社の最新技術を紹介しております。

海外コマーシャル

■コマーシャル市場の開拓

JCMグループは、北米及び中南米地域のコマーシャル市場の開拓、当社製品の販売拡大を目的として、コマーシャル事業に特化した販売子会社を設立し、コマーシャル事業をゲーミング事業に次ぐ主力事業とすべく、積極的な販売提案活動に注力しております。



北米最大の金融・流通向け展示会
National Retail Federation
ニューヨーク



北米最大の小売り業界向け展示会
NACS Show
ラスベガス



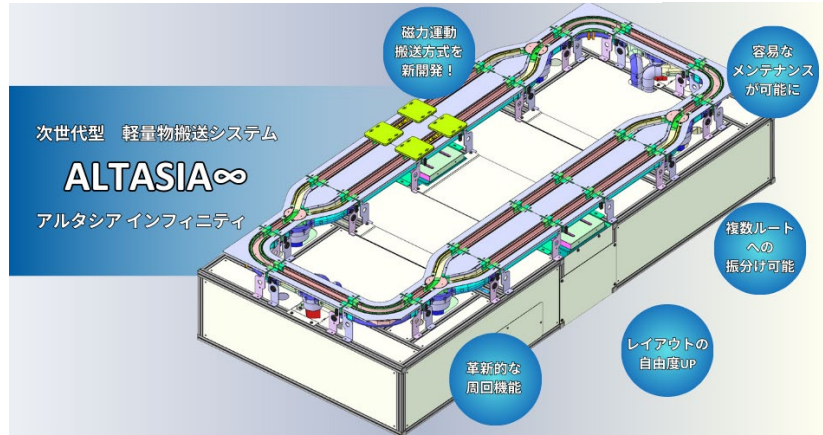
南米の金融・流通向け展示会
FEBRABAN TECH
ブラジル



アジアの金融・流通向け展示会
ASEAN Retail
シンガポール

■海外コマーシャル市場におけるシェア拡大に向けて、世界各地の金融・流通向け市場の展示会に出展し、新製品を含め多数の当社製品を紹介や、協力企業との共同出展により更なる販路拡大に努めております。

■ALTASIA ∞ （アルタシア インフィニティ）が2024年度グッドデザイン賞を受賞



製品WEBサイト：[次世代型軽量物搬送システム ALTASIA \$\infty\$](#)

ALTASIA ∞ は、遊技場向けの紙幣搬送システム（ALTASIA）に採用したエアと磁力による搬送駆動方式を用いて、本方式の特徴である省エネ運転と自由度の高い搬送経路などの優位性はそのままに、重量物等の対応を図ることで外食、小売り、物流等の幅広い産業分野での物品の供給や回収、工場内における物品搬送等の省力化を実現できる製品であります。

既に各企業との間で秘密保持契約を締結するなど、本製品の市場導入に向けた具体的な構想を着々と進めている段階であります。

[グッドデザイン賞 受賞掲載WEBサイト（次世代型軽量物搬送システム アルタシア \$\infty\$ ）](#)

■地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンターと共同研究開発を開始



特定機能病院 / 地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

大阪国際がんセンターと「早期発見された小型肺がんの切除範囲を決定するためのAI 判定支援システム」の共同研究開発を開始いたします。今後は、当社が貨幣処理機器分野で培ったコアテクノロジーを医療領域を始めとする様々な領域での貢献に向けて、挑戦してまいります。

ニュースリリース：[Go-Tech事業「早期発見された小型肺がんの切除範囲を決定するためのAI 判定支援システムの研究開発」の共同研究を開始](#)



■環境

気候関連のリスク及び機会に関する当社グループの指標と目標は、Scope 1、2 について、2025年度までに温室効果ガス排出量40%削減（2018年度比）を目指します。

温室効果ガス排出量実績及び目標 (単位：t-CO₂)

2025年度 目標	2018年度 実績比	削減に向けた対応	2023年度 実績 (参考)
640	△40.0%	- カーボンニュートラル都市ガスの導入検討 - 省エネルギー性能の高い社屋への本社移転 - 本社、東京本社および長浜工場での再生可能エネルギーの導入検討	610



■人的資本

当社グループの人的資本に対する基本方針は、従業員は「お互いを尊重し合い、個性を発揮しながら仕事を通じて人として成長し続けること」、会社は「人が成長し続ける機会を、仕事を通じて提供していくこと」で、従業員一人ひとりが家庭と職場に良い影響を与え、それらが集結することで継続的に価値を創造し続ける企業であり続けることが出来ると考えております。

今後、より一層事業のグローバル化を進めていく中、人事戦略の世界基準となっている「ダイバーシティの拡充」、「中核人材の育成」、「多様な働き方の実現」を当社の人材戦略の中心とし、その取り組みを推進してまいります。

当社グループではサステナビリティ推進にあたり、前述のとおり人的資本を重要視しており、上記各方針の実現に向けて、次の指標を用いており、当該指標に基づく目標及び実績は以下のとおりです。

指標	対象範囲	目標	実績 (2024年3月期)
採用に占める 女性比率	単体	30%以上	38.8%
正社員に占める 女性従業員比率	単体	2032年までに20%	16.6%

当社のサステナビリティの取り組みについては統合報告書にまとめておりますので、下記の当社ウェブサイトをご参照ください。

統合報告書 https://www.jcm-hq.co.jp/ja/ir/library/r_annual.html

日本金銭機械株式会社（日本語）

<https://www.jcm-hq.co.jp>

JCM Global（English）

<https://jcmglobal.com>



過去の決算説明資料は、ホームページ(日本語)でもご覧いただけます。

「投資家情報」 → 「IRライブラリー」 → 「決算説明会資料」

お問合せ先： 経営企画本部 広報・IR担当 06-6643-8400(代)

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行わないようお願いいたします。